

# くるん ニャッ!



2013.6

やまぐちまちなか情報広報誌

やまぐち

とどエ中  
ころんリ心  
ろなア市  
? っ街  
て地





「行程記」  
萩往還 山口市街地部分(18世紀)  
山口県文書館

# 山口市中心市街地 どエリアって



山口の中心市街地の歴史は古く、室町時代、守護大名の内氏が拠点を置いたことから、山口のまちは政治、経済、文化の中心地として栄えました。現在も当時の町名、小路名が残っており、当時のまちづくりを伺うことができます。また、萩と山陽道を結ぶ萩往還と石州街道が中心市街地で交差していることから、江戸時代には門前町、宿場町としても発展しました。幕末には、維新の志士らが集い、明治維新の重要な舞台にもなりました。近代以降、商店街を中心にたくさんの商店が並び、市役所、郵便局、金融機関など、主要な施設が集まったエリアになったのです。

比較すると  
昔の町割り  
今も残っているのが  
分かるニャ



様々な機能が  
凝縮されて  
いるんだニャ



## 現在のエリア周辺に 集まる機能

このように中心市街地エリアは、数々の歴史を重ねて構成されたまちで、その変遷を紐解いていくと、現在の姿とつながっていることが伝わってきます。

現在、様々な要因によって中心市街地エリアの吸引力が低下し、活性化が必要となつていきます。なぜ、この中心市街地エリアの活性化が必要なのか、この広報誌を通して考えていきましょう。

### 歴史・文化

- 一の坂川やパークロードなどの自然景観
- 大内文化や明治維新関連の史跡
- 山口七たちょうちんまつりなど伝統的祭り

### 商店・事業所

- 商店街を中心とした商店や飲食店、百貨店、スーパー
- 郵便局、病院、金融機関、テレビ局などの事業所

### 行政・教育

- 市役所、裁判所、合同庁舎などの行政機関
- 保育園、小中学校、高等学校などの学校機関
- 図書館、美術館、博物館などの教育文化施設

# 「中心市街地の 活性化」って 何のこと？

山口のまちなかは、  
長い歴史の中で文化、伝統を  
はぐくみ、地域経済や

社会の発展において重要な役割を  
果たしてきた「まちなかの顔」  
ともいえる場所です。

しかし、車社会の進展、  
郊外大型店の出店、  
居住人口の減少、  
商業の魅力低下などで、  
まちなかの衰退が  
進みつつあります。

# 2

PROLOGUE



車があるから  
不自由ないよ

郊外の大型店が  
あるからいいじゃない

今さら、中心市街地の  
活性化があるの？



10年後、20年後のあなたの暮らしは大丈夫？

将来は、  
車を自由に使えない  
市民が増える  
ニャ。



郊外のスーパーが閉店してしまったら

車を運転できなくなったら

バスが走っていないかったら

かかりつけの病院がなくなっていたら

生活に困ったりしませんか？

中心市街地の活性化とは、  
将来を見据えたまちづくり

今後の人口減少や少子高齢化社会を踏まえると、歩いて暮らせる範囲内に、  
商業や業務、文化などの都市機能や生活基盤が集約されていることが求められ、  
中心市街地の活性化とは、中心市街地を生活拠点として再生する取り組みといえます。  
これからは、「コンパクトなまちづくり」が必要です。

「コンパクトなまちづくり」とは

若者やお年寄り、障がいのある方、だれでもが、徒歩や自転車を中心に、  
車にたよることなく生活できるよう、まちなかに、住宅や商店、学校、病院、  
公共公益施設などをコンパクトに集中させたまちづくりのことをいいます。

歩いて何でも  
用が足せば  
車の運転ができなくても  
安心だニャ!



中心市街地活性化に向けた3つの視点

にぎわいのあるまち

暮らしやすいまち

自然と文化の薫るまち



飲食を中心に  
市場を備えた  
東のコミュニティ拠点  
「マルシェ中市」



教養文化施設・  
スーパーを備えた  
中心商店街の西の拠点  
「どうもんパーク」

これまで  
いろんな取り組みを  
やってきたんだニャ!



改装後



改装前

【空き店舗率の推移】  
**13%** ← **19%**  
(平成25年3月) (平成23年4月)

こんなに  
減ったニャ!



空き店舗を減らすための  
空き店舗対策事業

にぎわいの  
あるまち

PROLOGUE

中心市街地  
活性化の  
取り組み。

まちの資源を活用し、  
周囲と連携しながら  
中心商店街のにぎわいを  
取り戻します。

集客のための  
にぎわい創出  
イベント

やまぐちスペインフィエスタ



山口みどりのフェスタ  
(山口市都市緑化祭)



高校生チャレンジショップ



やまぐち秋の彩りフェスタ



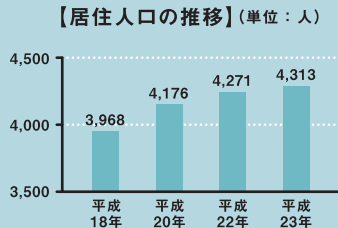
市民活動の  
きっかけづくり・支援  
「さぼらんで」

子育て中の  
親子を支援  
「てとてと」

定住人口を増やす  
「借上型  
市営住宅」

高齢者や  
障がい者のサポート  
「まちのえき」

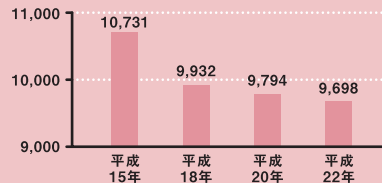
江戸時代の町屋を  
保存・活用  
「和楽の咲都」



誰もが住んでみたく  
なるような安全で  
利便性の高い環境を  
創出します。

暮らし  
やすい  
まち

【小売業年間商品販売額の推移】  
(単位：百万円)



全国的に  
不況ということもあって  
キビシイ状況だニャ...



マンションなどもできて  
居住人口は増えてるニャ!



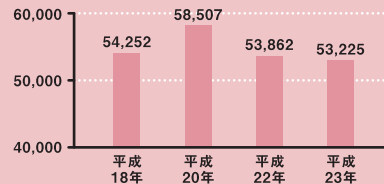
商店街との  
回遊性を高める  
憩い空間にも  
なるんだニャ。

一の坂川周辺地区整備事業  
河川を活かしたまちづくり

自然と融合したまちづくりとともに  
歴史の継承と新しい文化を創造します。

自然と文化の  
薫るまち

【商店街通行量の推移】  
(単位：人)



増えたり減ったりしているニャ。  
全体的には横ばいかニャ?



# 「にぎわいのあるまち」を目指して

まちの資源を活用し、周囲と連携しながら、中心商店街のにぎわいを取り戻す取り組みを実施しています。

## Interview

### みんなが参加する スペインフィエスタ を目指して



やまぐち  
スペインフィエスタ  
実行委員会

かわかみ なおみ  
川上直美さん

#### スペインフィエスタとは

スペイン・パンブローナ市と山口市が姉妹提携を結んでいることから、スペインをテーマにしたイベントを毎年秋に開催しています。「来て・見て・食べて、スペインを楽しむ」をコンセプトに、その日は商店街が一体となってスペイン一色に染まります。

目玉は、大鍋パエリアとフラメンコショー。特にフラメンコはクオリティが高く、山口で本格的なショーはなかなかお目にかかれないので必見ですね。

#### スペインフィエスタへの思い

たくさんの人と一緒に盛り上げていきたいという思いがあるので、

地域の方や高校生にも屋台出店やステージに参加していただいています。お客様ではなく主催側として一緒に参加すると、達成感やたくさんの方の感動を味わえます。経験と感動を多く味わうことは、人生における財産だと思っています。

また、イベント（スペインフィエスタ）を通して、人と人とのつながりを広げていけるような場を商店街から発信したいです。

#### CP研究会について

第1回のスペインフィエスタ（山口スペインまつり）を企画・運営したのがCP研究会です。商店街の有志で構成されるグループで、商店街の垣根を越えて楽



フラメンコショー

大きい鍋だニャ!!



若い人が集まりそうな  
カフェやショップが  
増えるのにぎわうのでは。  
(清水さん/28歳)



商店街に  
「山口ではここにしかない」  
というお店があれば  
いいと思います。

(ヤスさん/20歳)

#### まちかどインタビュー①

Q どうすれば、  
にぎわいのあるまちに  
なるとおもいますか？





しいことをしよう」というコンセプトで活動しています。今はイベントの規模が大きくなったので、実行委員会がありますが、CPR研究会は実働部隊として活躍し

ています。

### 今後の展開

商店街でイベントに消極的な店舗も、一緒に盛り上げていきたい

です。そして、たくさんの方が参加できるようなものにして、みんなで作り上げるイベントにしたいと思います。

## interview

# 学生と連携したイベントで商店街ににぎわいを



株式会社  
街づくり山口

宮野 孝夫 さん

### 学生と連携したイベント

「何かやりたい」と意欲を持っているのに、「どうすればそれを実現できるか分からない」と思っている学生は意外と多いようです。以前、商店街で行うイベントに携わった時に、学生に協力してもらったのがきっかけでそのことを知りました。平成24年秋から、学生と連携したイベントを積極的に展開するようになり、やる気のある学生たちに機会と場所を提供してイベント運営をサポートしています。

学生と連携したイベントの中で、一番印象に残っているのは、2月のアカペラコンサートですね。山口大学のアカペラサークルが主体となつて、九州や中国地方の大学のアカペラサークルを呼んで、大規模なコンサートを開催しました。学生たちは、自分で他大学のサークルに連絡をとって、プロとの出演交渉もこなして、かなり意欲的に動いてくれました。まだまだいろいろな場所でもやり

たいと言ってくれるので、これからも協力していきたいですね。

### イベントによる効果

山口市には1万人の学生が住んでいても、そのうち4%、つまり400人しか商店街で買い物をしたことがないというデータがあります。マーケットがあるのに、それを取り込めていないのです。アカペラコンサートを開催した時、200人の学生が来てくれましたが、ほとんどが初めて商店街に来たと言っていました。イベン

トをきっかけに、この中から少しでも「これから商店街に通いたい」と思ってくれたらいいですね。

### 今後の展開

商店街で買い物以外の娯楽の選択肢を増やしていきます。例えば、発表の場を増やしたり、ネット連動で参加者が楽しむ企画を実行したり、参加する側も主催する側も両方が面白いと思える仕組みが必要ではないかと思えます。

アカペラ  
コンサート



アカペラコンサートの様子

チラシ

大盛況だったニャ〜



レッツフライ  
アバウト  
商店街



マップづくりの様子

チラシ

学生協力の子ども向けイベント「レッツフライアバウト商店街」も開催したニャ!



仕事帰りに立ち寄れるように、遅くまで開いているお店が増えたらいいですね。  
(水津さん/72歳)

高齢者が気軽に入れる場所がもっとたくさんあるといいですね。  
(徳枝さん/88歳)

カフェや洋服屋が増えて、商店街全体がショッピングモールみたいになるといいかも。  
(せいちゃん/31歳)

子どもと一緒に楽しめるイベントがあればいいな。  
(さやかさん/29歳)

# 「暮らしやすいまち」を目指して

子どもからお年寄りまで、誰もが安心して過ごせるまちを目指して様々な取り組みが行われています。

## 子育て中の お母さんが 集う交流スペース

interview



ほっとさろん西門前「てとと」  
久保田美代さん

「てとと」について

0〜3歳児を抱えるお母さんと子どもが集まる子育て交流スペースが「てとと」です。お母さん同士、子ども同士がお友達を作ったり、絵本やおもちゃで遊んだり、いろんな目的を持っています。初めて来る人は入りづらいと思うので、週1回ペースでミニプログラムを行っています。0歳の赤ちゃんを対象とした「ころびよあかちゃんの家」、妊婦さんを対象とした「わくわくマタニティの会」など、私が行く日だと分かるように対象者を明確にしています。

う目的を掲げていますが、「ここに來ることで、いろんな子育てを知ることが出来ます。子どもを産むと大変だと思う方は多いと思いますが、他の人の子育てを知って、楽しい部分を再認識して、こんなふうに着てられるならもう一人産んでみようかなと前向きに思ってもらえるといいですね。

**一時保育を通して**

一時保育を目的に来る方もいらっしゃいます。「預ける間に買い物や美容院に行けるので、商店街にあると便利」という声を聞きますね。利用は、育児疲れの解消など私的な理由でも構いません。私的な理由は悪いことだと感じている方もいるようですが、



ほっとさろん西門前「てとと」  
【所在地】西門前商店街  
【開館時間】10:00〜15:00  
【休館日】土曜・日曜（第3日曜は開館）・第3木曜・お盆・年末年始  
平成15年7月にオープン。NPO法人あつとが山口市の委託を受けて運営している。

一時保育「あずけちゃお」  
【対象】0歳児〜未就園児とその家族  
【日時】火曜・金曜 10:00〜13:00（てととと開館中）  
【料金】600円/1時間（要予約）  
（最短1時間〜最長3時間、30分単位）

### まちかどインタビュー②

Q 暮らしやすいまちになるには、何が必要だと思いますか？



スーパーのような店がもう少し増えると暮らしやすいのでは。  
（ぐりさん／20歳）

自転車とすれ違って危ないことがあるので、歩行者用と自転車用の道があるといいかも。  
（麻由さん／33歳）



そうではありません。一時保育は  
贅沢なことではないと、みなさん  
に伝えていきたいですね。

### 商店街の方とのつながり

商店街の行事には可能な限り参

加するようにしています。隣近所  
に私たちの活動を理解してもら  
うことができずし、交流があ  
ると何か困ったことがあったら助  
けを求めることもできます。そ  
の道のプロばかりなので、美容師

による前髪切り方講座や、呉服  
店に浴衣の着付けをしてもらっ  
たこともありませぬ。いろいろな  
たちと関わりができるのが、商  
店街の特徴ですね。

## Interview

# 高齢者が いろいろな人と 交流できるサロン



ほっとさろん中市  
「まちのえき」

神本直樹さん

### 「まちのえき」について

いろいろな人が来て気軽に交流  
できる場所が「まちのえき」で  
す。利用者同士が知り合ってコ  
ミュニケーションしながら交流を  
深める「交流サロン」、看護師や  
保健師が健康相談を受けたり、  
健康チェックをする「まちの保健  
室」、大学生ボランティアによる  
お買い物のお助けや、車椅子・シル  
バーカーの貸出をする「タウンモ  
ビリティ」の3つの機能がありま  
す。お茶を飲んでひと休みした  
り、誰かと会話を楽しんだり、保  
健室で血圧を測ったり、みなさん  
ここにきて自由に過ごされてい  
ます。

### 利用者の声

増えている、平均すると一日に約  
60人の方がいらっしゃいます。

一人暮らしの方が、「家にずっとい  
ると気が滅入るので、ここにきて  
いろいろな人と話したい」と来  
られることが多いです。商店  
街で買い物をするついでとい  
うよりも、「まちのえき」を目指し  
て来られます。このサロンが街に  
出てくるきっかけになっているの  
でしょうね。

「まちのえき」を気に入って、誰  
かが知り合いを呼んできて、また  
知り合いを呼ぶというように、人  
が人を呼ぶ傾向がありますね。

### 今後の目標

「まちのえき」に集まる人たち  
が、これからもずっと来てくれ  
て、つながりを持ち続けられたら  
いいなと思います。毎日来ること  
で介護予防にもなりますし、結  
果として商店街への来街者が増  
えて活性化につながるのではな



ほっとさろん中市「まちのえき」  
[所在地] 中市商店街 [開館時間] 10:00~16:00  
[休館日] 水曜・土曜(第2土曜は開館)・お盆・年末年始  
平成15年4月にオープン。NPO法人せわやきネットワ  
ークが山口市の委託を受けて運営している。

いかと思います。そのため、毎  
日来たくなるような工夫を心が  
けていきたいと思っています。



いろいろな商品が  
買えるように  
お店の種類が増えると  
暮らしやすいです。

(享子さん / 82歳)



人が集う  
コミュニティ施設が  
あることを、  
もっとたくさんの人に  
認知してもらうことが必要。

(トシ子さん / 58歳)



ちょっとした時間でも  
気軽に停められる  
駐車場があると  
いいですね。

(優子さん / 37歳)



夜が暗いので、  
街灯を増やしたり  
閉店時間を  
遅くしたりして、  
街を明るくすると  
いいのでは。

(松原さん / 35歳)

# 「自然と文化の薫るまち」 を目指して

自然と融合したまちづくりに取り組むとともに、  
歴史の継承と新しい文化を感じられるような  
個性的なまちづくりを目指します。

## Interview

### 自然と文化あふれる 一の坂川を 次の世代に



一の坂川  
周辺地区ブロック  
協議会

中野 雅恵 さん

#### 協議会について

一の坂川の再生とその周辺のまちづくりを進めるために、一の坂川周辺地区ブロック協議会（以下、協議会）を立ち上げたのが平成15年のことです。当時作成した「まちづくり構想」を元にした一の坂川周辺地区の整備が現在行われています。

工事に入ったのは平成20年からで、護岸工事や河川再生、道路の整備、電線類地中化管路の設置が進み、現在は御局橋から千歳橋までの区間に着手している状況です。2年後に工事が完成する予定です。

#### 積極的な情報発信

協議会では、年3〜4回ほど会報を発行していて、現在35号になりました。ここまで詳しく情報発信する協議会は珍しいのではないのでしょうか。常に私たちの活動を対外的に発信することで、みなさんが「一緒にまちを活性化しよう」という意識になってくれると嬉しいですね。

#### 一の坂川再生への思い

ギャラリー・ナカノがあるこの場所では生まれ育ち、76年間ずっと川の姿を見つめてきました。子どもの頃は、春には桜、初夏にはホタルが舞う風情がこの川にもありました。

毎年台風の大水でこの辺りが浸水していたことから、昭和45年頃に治水工事をした結果、景観を考えずに放水的な工事をしたので三面コンクリート張りの風情のない川になってしまいました。ここから上流には、その後ホタル護岸工法で治水工事がされたので、桜もホタルも舞う自然豊かな美観地区になっています。同じ一の坂川なのに、上流は観光客でにぎわい、私たちの地域はあまり人が歩いていない状況があります。なんとか昔のような自然がある環境を取り戻したいという願いで一の坂川再生のため活動を継続しております。工事はあと2年で完成しても、桜やホタルを見ることができるよう

#### まちかどインタビュー ③

Q 自然と文化をPRするアイデアをください！



若い人が参加できるPRイベントを開催するのいいと思います。

(めいさん/20歳)

歴史スポットを巡るウォークラリーをしてはどうでしょうか。

(かねごんさん/30歳)



なるには、まだまだ時間がかかるでしょうね。

### 山口の歴史を伝える活動

地域の歴史と文化を教えていく活動にも力を注いでいます。江戸時代後期まで、米屋町に笠着堂（かさぎどう）という連歌所がありました。祇園祭では、祭り期間の7夜で700句作ったものを御神輿にかけて、最終日に八坂神社とお殿様に奉納、献上していたという記録があります。地域の中にこんな素晴らしい歴史があることを知り、アトふる山口では笠着堂を顕彰する展示やイベントを毎年行っています。

### 地域住民との関わり

6月・12月にはキャンドルナイ



ト、7月には夏祭り、8月には親子の生物観察会、春と秋に川掃除など、地域住民と交流するイベントも定期的に開催されています。川掃除は終戦後から行われている町内会の行事に、協議会を立ち上げてからはいろいろな方々が率先して参加するようになりました。現在はマシシヨンの方も参加しておられます。笠着橋のところに新しく広場を作る予定です。そこで緑陰読書会やフリーマーケットもやりたいですね。地域の交流スペースとして、みんなが使える多目的な場所になればと思います。

### 今後の展開

私たちは利益や利便性だけでなく、川の自然を再生し、地域

の景観や歴史と文化を伝えることで、次の世代に何か残したいと活動に取り組んでいます。これからも山口にはいろいろな歴史や地域の環境を語り部として教えていきたいですね。



昔は川底が浅かったニャ〜



新村出さん  
(広辞苑を初めて編纂した人)の  
ことをもっと広くPRしてほしい。  
(いとうたけしさん/73歳)



ミニ文化展をあちこちで開催する  
といいのではないのでしょうか。  
(中村美枝子さん/60歳)



みんなの園で季節感のある  
イベントをやったらいいと思います。  
(あんちゃん/44歳)



日本のクリスマス発祥のことなど、  
モニュメントや説明板でアピールしては。  
(菅沼淳さん/42歳)

# 山口市中心市街地への 出店ストーリー



## 和菜遊彩 叶(かな)

代表 **大工 広道** さん

平成23年7月に発生した中市商店街の  
火災後、同10月に新町商店街に移転・  
再オープンした飲食店「叶」。  
オーナーの大工さんに、再オープンまでの  
経緯についてお話を伺いました。

「山口街中  
サポートセンター」で  
商店街での開業を  
サポートしているニャ。  
(17ページ参照)



New  
**SHOP  
INFOMATION**

平成24年度に  
山口市中心商店街へ出店した  
店舗を見てみましょう。  
空き店舗が減り、  
中心市街地エリアの活性化に  
つながっています。

### 再オープンまでの経緯は？

大阪から地元・山口市に戻り、中市町の御局小路に店をオープンしてから、まだ半年しか経っていない時の火災だったので、すぐに再開するのかが、他店で働いて資金を貯めるのか、かなり迷いました。ただ、一度自分の店を出したので他の店で働くのは考えられなかったのと、「なんとかなるだろう」と漠然ですが前向きに考えるようになり、店舗を探し始めました。

して人目につきやすい。現在の物件に「目惚れでした。「ぜひやりたい！」と思ったのですが、家賃が高かったため、サポートセンターに家賃交渉してもらい、なんとか話がまとまりました。

### なぜ中心商店街で再開しようと思ったのですか？

他のエリアでの出店も考えました。ただ、湯田で出店すれば夜が中心になり、郊外だと店構えも大きく駐車場も必要になります。いろいろなパターンを想定して、やっぱり自分のスタイルだと、中心商店街の方が合っていると感じましたね。

お客様や友人から励ましの言葉

### 今後の目標は？

まずは、誰もが名前だけでも知っているような、みなさんに認知されている店になることですね。そのためは、できるだけ長く店舗を続けていきたいと思っています。



**和菜遊彩 叶** 飲食業

[開店日]平成23年10月  
[所在地]新町商店街  
昼はランチ客でにぎわい、  
夜は食事とお酒を愉しめる。



**カフェ ぶらり** 飲食業

[開店日]平成24年7月  
[所在地]米屋町商店街



**赤黒亭** 飲食業

[開店日]平成24年6月  
[所在地]新町商店街



**もなの珈琲** 飲食業

[開店日]平成24年5月  
[所在地]新町商店街



**ワイエムクリエイト** 建築事務所

[開店日]平成24年4月  
[所在地]駅通り商店街

**アウリンコ**

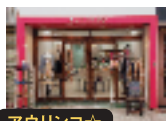
インテリアショップ

【開店日】平成24年7月  
洋服、雑貨など個性的なアイテムを揃えるショップ。

**エクラモーネ**

飲食業

【開店日】平成24年7月  
結婚式の二次会やパーティーも可能な広々空間のカフェ。  
(代表：荒瀬康宏)

**アウリンコ☆**

婦人服・雑貨

【開店日】平成25年1月  
エレガントな洋服、雑貨を揃える。大きめサイズ有り。

**アウリンコ・カフェ**

飲食業

【開店日】平成25年1月  
アットホームでこじんまりとした地下のカフェ。

※所在地/道場門前商店街(4店舗とも)

最初の2店舗を現在の場所に新店舗にした決め手は？

今のアウリンコの物件が気に入ったからです。最初は物販だけと想像していたのですが、2階が空き店舗で1階だけ営業するのは面白くないので、2階は飲食を行う友人の荒瀬さん(エクラモーネ代表)に声をかけて1階を物販、

最初の2店舗を現在の場所に新店舗にした決め手は？

出店のきっかけは？

防府でカフェを約6年経営しているのですが、平成23年のスペインフェアスタにカフェとして参加した時に「中心商店街へ出店したらどうか」と話をいただいたのがきっかけです。かなり悩んだのですが、自分の力を試したいと思って出店に向けて動き始めました。

出店のきっかけは？

2階を飲食にすることになりました。防府のカフェでつながりのあった方々にスタッフとして協力してもらい、なんとか2店舗同時オープンにこぎつけました。

さらに2店舗オープンしたのは？

次第にアウリンコが手狭になってきたのと、向かいが空き店舗で寂しかったので、物販をもう1店舗増やすことにしました。同じタイミングで、地下にあった「ささ波」という食事処が閉めることになり、雰囲気がとてもステキだったのと、別の方が地下を借りるより1階と地下で連携したいと思ったので両方借りることにしました。シャッター街はイメージが良くないのでできるだけシャッターを開

今後の目標は？

防府のカフェは郊外にあるので、わざわざ足を運んでもらうお店です。それに対して、商店街は人通りが多くて、土日は集客が見込めます。その中でいかに興味を持ってもらうかは、私たちの努力次第ですね。

立て続けに出店したので、まずはしっかりと維持していきたいです。新たな展開としては、防府のスタッフにパティシエがいるので、その才能や技術を生かす場所をここで作りたいと考えています。

中心商店街に出店するメリットは？

防府のカフェは郊外にあるので、わざわざ足を運んでもらうお店です。それに対して、商店街は人通りが多くて、土日は集客が見込めます。その中でいかに興味を持ってもらうかは、私たちの努力次第ですね。

けて、道場門前商店街をもっと魅力的な通りにしたかったです。

# アウリンコ

代表 **下瀬 美和** さん

平成24年7月に「アウリンコ」「エクラモーネ」、そして平成25年1月に「アウリンコ☆」「アウリンコ・カフェ」と道場門前商店街に半年で4店舗の開店に踏み切った。下瀬美和さんにお話を伺いました。

**F&L ARTICLE**

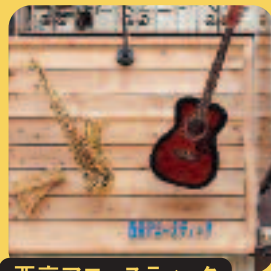
紳士服

【開店日】平成24年9月  
【所在地】新町商店街

**Addict**

紳士服

【開店日】平成24年8月  
【所在地】駅通り商店街

**西京アコースティック**

飲食業

【開店日】平成24年8月  
【所在地】本町商店街

**オアシスどうもん**

サービス

【開店日】平成24年8月  
【所在地】道場門前商店街

**心味**

飲食業

【開店日】平成24年8月  
【所在地】駅通り商店街



### GIRLY MARKET (ガーリーマーケット)

婦人服

【所在地】米屋町商店街  
かわいい系トレンドアイテムが中心。



### G.M Sally (GMサリー)

婦人服

【所在地】米屋町商店街  
落ち着いたきれいなテイストが中心。



### Alice lidell (アリスリデル)

雑貨

【所在地】駅通り商店街  
ナチュラル系の雑貨を描える。



### SOLA (ソラ)

雑貨

【所在地】米屋町商店街  
ポップでかわいい雑貨を描える。

菅さんの娘・梨紗さんも  
SOLAの店長として  
がんばっています！



喫茶店をやっていると、そこで使っていた食器に興味を持つお客様が多かったので、「じゃあ雑貨店をやってみようか」と昭和63年に新町商店街にセレクト系の雑貨店を出しました。そのうち、郊外に大型ショッピングセンターができ、雑貨が買える場所が増えてきたので、「服飾もやってみ

ます。喫茶店をやっていると、そこで使っていた食器に興味を持つお客様が多かったので、「じゃあ雑貨店をやってみようか」と昭和63年に新町商店街にセレクト系の雑貨店を出しました。そのうち、郊外に大型ショッピングセンターができ、雑貨が買える場所が増えてきたので、「服飾もやってみ

店舗展開の経緯を  
教えてください。



## ガーリーマーケット

代表 <sup>すが</sup>菅 <sup>よしえ</sup>佳恵さん

30年近く、中心商店街でカフェ、雑貨店、洋服店と様々なショップを経営してきた菅佳恵さん。時代の変化やニーズに合わせて、業態を変えながら店舗展開してきた菅さんにその経緯や思いを伺いました。

### 最近の動きは？

ソラは平成21年に新町商店街から現在の場所に移転し、GMサリーを平成24年11月に新規出店しました。最初に洋服店を出してから約15年が経ち、当時20歳だった方なら35歳になっていて身に付けるものも変化してい

よう」と思い立ち、平成13年、ガーリーマーケットの原点となる店を新町商店街に作りしました。米屋町の建物を購入したこと、その時に2店舗あった洋服店と一緒にまとめて、平成15年に現在のガーリーマーケットが誕生しました。店舗展開というより、時代の流れやお客様のニーズに合わせて、商品やターゲット、場所を変えていっただけなんです(笑)

### 商店街に対する思いは？

中心商店街の近辺で生まれ育ったので、愛着がすごくあります。昔のように、いろいろな方に来ていただける商店街になったらいいと思いますね。



### F.O.B STORE MIX

婦人服

【開店日】平成25年2月  
【所在地】道場門前商店街



### カフェ ラ・フランチェスカ

飲食業

【開店日】平成24年12月  
【所在地】駅通り商店街



### ひとさら

飲食業

【開店日】平成24年12月  
【所在地】駅通り商店街



### レノファ山口

事務所

【開店日】平成24年12月  
【所在地】道場門前商店街



### ガーナキッチン バオバブ

飲食業

【開店日】平成24年11月  
【所在地】駅通り商店街



## グループ活動 ①

# まちに 人を招く



## 「山口街中サポートTEAM」(山口街中 HP委員会)

山口市の商店街情報発信サイトである「山口街中」をより魅力的なHPにすることを目的とし、平成24年5月に結成しました。商店街有志のメンバーが中心となり、「山口街中」を通じて、商店街を盛り上げていこうとする熱くて愉快的なチームです。

山口街中サポートTEAMは、定期的にHP、SNS等の活用法について勉強しながら、「山口街中」をより魅力的なHPにするための議論を重ねています。持ち前のチームワークで、商店街有志のメンバーがHPの運営に深く関わることで、お店やイベント情報等を積極的に発信し、メンバーが自信を持って人に勧められる日本一の商店街HPを作り上げていきます。メンバーが運営する「山口街中」はこちら。

<http://www.yamaguchi-machinaka.com/>



「山口街中」では200店舗以上の情報を掲載しています。他にも商店街イベント等の情報も満載!



山口街中公式Facebookページ運営中!  
街の裏側を覗いてみよう!



## 「山口街中サポートセンター」

商店街を舞台に新しいお店を出したい方や面白いイベントをしたい方などをサポートするために、空き店舗の紹介やイベント運営のお手伝いなどを行っています。

ウェブサイト <http://yamaguchi-support.jp/>

### おもしろイベント・企画大募集

まちなかサポートセンターでは、中心商店街での各種イベント実施の企画・運営を行っています。中心商店街内でイベント実施のご希望のある方はご相談ください。日時、場所等イベント企画に合ったサポートをさせていただきます。

### 【イベントプロデュース】

〒753-0047  
山口市道場門前1-1-18(どうもんパークビル2F)  
TEL 083-902-3386  
machi-yama@cosmos.ocn.ne.jp  
(担当)宮野

### 開業サポート

商店街におけるテナントミックス計画を考慮しながら、必要な業績を見極め、適切な空き店舗を紹介しています。また、商店街内における出店者に対し、事業計画の立案や有利な補助制度の活用まで、開業支援をトータルにサポートしています。

### 【開業サポート】

〒753-0086  
山口市中市町1-10(山口商工会議所内)  
TEL 083-925-2300  
arita@tempo.ocn.ne.jp  
(担当)有田



## 【サークル・セブン】

サークル・セブンは、各商店街間の連携を強化し、商店街活性化を目的に活動を行う山口市中心商店街の若手経営者等で構成される団体です。

「山口市中心部の7つの商店街が輪(和)になって」という意味と、設立年が2007年(平成19年)であることから「サークル・セブン」という名称となりました。

サークル・セブンは、商店街実働部隊として地域の学生と連携し、中心市街地での各種イベントの企画・実施、商店街清掃活動、研修会などを行っています。メンバーが主体となって行っている主なイベントは、ハロウィン仮装パレード、職場体験、フォトコレ、ちよるコン(街コン)などです。

市民の方に商店街での楽しい思い出をたくさん作ってもらい、商店街に愛着を持っていただけるようにと市民参加型のイベントを多数企画・実施しております。サークル・セブンメンバーが発信しているブログも是非ご覧ください!



グループ活動 ②

まちを  
盛り上げる

## 【地域活動お助け ターミナルメディエーター】

地域活動お助けターミナルメディエーターは、通称「メディエーター」と呼ばれ、山口大学、山口県立大学、山口学芸大学、山口芸術短期大学の学生合同ボランティアサークルで、「地域と大学生をつなぐ」ということを目的に活動しています。

メディエーターは、中心商店街でのイベントや市内のイベント等で運営スタッフとしてサポートをしたり、時には当日のボランティアだけでなく、企画から関わったりと、小学生や地域の方々と交流を図っています。お手伝いをさせてもらっている主なイベントは商店街では職場体験やハロウィン仮装パレード、スペインフィエスタ、他にも青空天国やアートふる山口など多くのイベントに参加させてもらっています。これら活動を通して自分たちが楽しむことはもちろん、活動が地域の活性化に少しでも貢献していければと考えています。



# 「山口市中心市街地の祭事」

## 山口七夕 ちようちんまつり

開催日 8月6日・7日

場所 山口市中心商店街、パークロード、他

約600年前に26代大内盛見が父母の冥福を祈り、7日盆の夜に笹竹の上に灯ろうを灯したのを起源とし、やがて盆行事として広がったといわれています。

現在は、灯ろうから紅ちようちんに変わり、中心市街地エリアを紅ちようちんが埋め尽くす、山口の夏の風物詩となりました。数多くの竹竿につけた数万個の紅ちようちん一つひとつにろうそくの火を灯し、商店街一帯は光のトンネルとなり、幻想的な光景を創り出します。



山口市を代表する三大祭りは、中心市街地エリアで行われているニャ!



## 山口祇園祭

開催日 7月20日～27日

場所 八坂神社、豎小路、山口市中心商店街

24代大内弘世が現在の八坂神社を京都から勧請した後、大内教弘の代より約550年受け継がれてきた祭り。初日に八坂神社にて鷲の舞が奉納され、御旅所まで3基の神輿が練り歩きます。最終日には御旅所から八坂神社へ神様をお返しする御還幸が行われます。

## 山口天神祭

開催日 11月23日

場所 古熊神社、山口市中心商店街

菅原道真を祀る古熊神社の例祭で、約390年の歴史があります。「こ神体こみまを乗せた御網代車みましろを中心にした御神幸行列と参勤交代を再現した備立行列が古熊神社から中心商店街で行われ、古くからの祭事を今日まで忠実に伝えています。



## 福部童子祭

開催日 8月26日

場所 今市町

太宰府へ向かう途中、山口で病に倒れた菅原道真の子・菅原福部（福部童子）を偲ぶ祭り。焚き火をして尻をあぶると病気をしないという「尻あぶり神事」が行われます。

## もりさま祭り

開催日 9月1日

場所 長寿寺

もりさまは、かつて荒高町にあった荒高神社の通称で、福部童子にまつわる祠を建てたのがおこりと伝えられています。祭りでは、今八幡宮から御旅所まで御神幸をお連れします。

## えびす祭り

開催日 11月下旬

場所 中市商店街・道場門前商店街・西門前商店街

江戸時代、中市町・道場門前・西門前の各商店街にえびす社があり、えびす祭りが定期的に開催されていきました。えびす祭りは現在も行われており、3つの商店街が様々なイベントを企画しています。

## 日本のクリスマスは山口から

開催日 12月

場所 市内各所

フランス人・サビエルが日本で初めてミサを行ったのがこの山口の地であることから、日本のクリスマス発祥の地としてイベントを盛り上げます。

歴史にまつわる祭りはたくさんあるニャ!



# 山口市中心市街地 活性化に向けて

「なぜそんなに活性化が必要なの？」  
みなさん同じ疑問を持たれると思います。山口市民歴10年、私も全く同じ疑問を持っていました。

「都市経営コストの増大」と聞いて、すぐにピンと来る方は素晴らしい。私にはさっぱりわかりませんでした。でも、編集に携わったから、こんな事実を知りました。

街の郊外化が進むと、中心地から徐々に人がいなくなりえます。すると、今まで中心地にあった企業や行政サービスも、だんだんと中心地から遠のきます。企業がなくなれば、働く場所がなくなり、人が減って、今までできていたはずのお祭りの運営も難しくなるし、街の元気はなくなる。人もいない、お店もないとなると、街の魅力もなくなり、地価も当然下がります。ここまで聞くと、「お店が郊外にあればいいんじゃない？」と思いませんか？

違うんですって。人が暮らす場所がどんどん広がると、例えば下水道整備だって、かなり広範囲まで掘げなくてはならない。結局は、税金が沢山必要。都市経営コストの増大となるわけです。でも、地価も下落、お店も会社もなくなり、人がいなくなるわけだから、税金の収入は大幅ダ

ウン…。悪循環、負のスパイラルに突入です。

私は50年後も、山口市で暮らしていたいと思っています。50年後の私は、もう車の運転ができないかも…。そうなったとき、遠くまで買い物に行くのはとても大変。歩いて色々と買い物と用事が済ませられれば、それが一番便利だし、健康的だと思っています。

まちなかに魅力があふれていれば、中心市街地に住みたい。住み続けたいと思う人も増えるでしょう。中心市街地が、今よりももっと元気で、もっと便利になれば、やってくる人も暮らす人も増え、お店も増える。税収がアップして、もしかするとサービスも向上するかも知れない！

みなさんにも、この事実を知って欲しい！そして、ぜひ活性化にお力添えをいただきたい！だから今、みんなの声で、山口市中心市街地をもっとアツい場所にしていきましょう。

私にはなんの知識もありません。でも、知識なんかなくても平気で「元気なまちであってほしい！」という思いが一番大切なんだと実感できた、良い経験になりました。

(編集委員 丸ハル)

New  
SPOT

ニュースポット

「みんなの園」  
が誕生!!

中市商店街に平成24年10月、緑化空間「みんなの園」が誕生しました。平成23年7月に発生した火災で消失した中市一番地(約300坪)に芝生広場やステージを設け、再建までの期間限定で公園やイベントスペースとして活用されます。

平成24年9月「芝生はり、ステージづくり」

市民の手で芝生はりやウッドステージ作りを手掛け、「みんなの園」を作りました。

平成24年10月「山口みどりのフェスタ」  
完成した「みんなの園」がお披露目されました。



「山口みどりのフェスタ」の様子

## 意見を聞かせてニャ!



山口市中心市街地エリアについて、  
「どうすればにぎわいのあるまちになるか?」  
「暮らしやすいまちになるには何が必要か?」  
「自然と文化のあるまちをPRするにはどうしたらいいか?」など、みなさんの意見を山口市中心市街地活性化協議会までお寄せください。

【発行元】

山口市中心市街地活性化協議会  
〒753-0086 山口県山口市中市町1-10  
(山口商工会議所内)

TEL : 083-925-2300

FAX : 083-921-1555

E-mail : yc@yamacci.or.jp

【編集・デザイン・印刷】株式会社マルニ